

ロシア連邦大統領 ウラジーミル・プーチン様  
駐日ロシア連邦特命全権大使 ミハイル・ガルージン様

## ロシアのウクライナ侵略に断固抗議し、即時中止・撤退を求める

ロシアは2月24日にウクライナに対して全面的な軍事攻撃を開始しました。これは、ウクライナの主権を侵害する侵略であり、断じて許すことはできません。軍事攻撃を中止するよう強く求めます。

軍事攻撃の口実としてプーチン大統領は、ロシアが一方的に「独立」を承認したウクライナ東部地域の「共和国」からの要請やウクライナ国内のロシア人を守るためなどと主張していますが、それは国際的に通用しません。今回の軍事攻撃は、国連憲章51条の「個別的自衛権」及び「集団的自衛権」の行使としては到底認められるものではありません。軍事侵略の目的はウクライナの政権をつぶすことにあることは明らかです。今回の野蛮な軍事攻撃は侵略戦争そのものです。

さらに、プーチン大統領は「現在のロシアは、今や世界で最も強力な核保有国の一つ」「ロシアへの直接攻撃は侵略者の破壊と悲惨な結果につながる」と演説し、核兵器の先制使用を示唆し、核兵器による威嚇にほかなりません。

戦争によって国際紛争を解決するのではなく、人類の長年の英知を重ねた国連憲章と国際法を遵守して、外交による平和的話し合いによって解決しなくてはなりませんし、道はそれしかありません。

以上の立場から、私たちは、日本と世界の多くの人々とともに、以下のとおり断固として要求します。

- 一、ロシア軍はウクライナへの武力攻撃を即時中止せよ！
- 一、ロシア軍はウクライナから直ちに撤退せよ！

以上

2022年3月2日

生協労連・ユーコープ労働組合  
中央執行委員長 折田真也

(神奈川県横浜市中区太田町 6-84-2 大樹生命ビル 4 階)